

平成 30 年 8 月 「月 報」

1 はじめに

平成 30 年 7 月豪雨災害により、7 月末現在全国で死者 220 名、行方不明者 9 名の甚大な被害が発生しました。一昨年の熊本地震災害、昨年の九州北部豪雨災害からの復興途中において発生した災害に、国民の多くが愕然とするとともに災害への備えの重要性を痛感した次第です。

また、ご家族が安否不明の中、災害派遣に赴いた隊員の心情を察しますと、家族会が進めている家族支援協力を更に実効性あるものにしていかなければならないと考えます。

2 平成 30 年度 7 月豪雨災害に伴う自衛隊の災害派遣

8 府県から災害派遣要請を受けた自衛隊の災害派遣規模（7 月末現在）は、最大時人員約 33,000 名、艦船 28 隻、航空機 38 機、連絡幹部を 74 個所に約 300 名派遣し、人命救助等：2,284 名、給水支援：18,744.1t、入浴支援：約 76,567 名、給食支援約 20,590 食、物資輸送、水防活動、道路啓開、がれき処理等の活動実績となっており、なお継続中です。



人命救助活動中の第 47 普通（海田市）の隊員



物資輸送中の空自隊員

3 家族会の活動

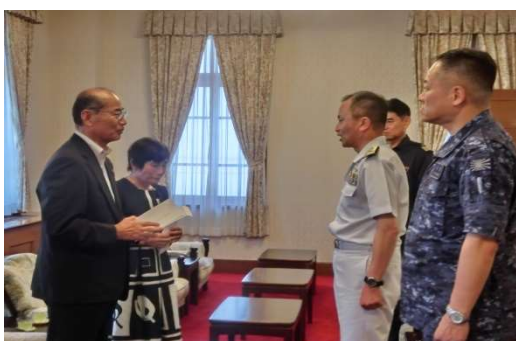
(1) 会員の安否確認

7 月 6 日～9 日の西日本を中心とする豪雨に際して、大雨特別警報が発表された岐阜、大阪、京都、兵庫、岡山、広島、鳥取、山口、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎の各県家族会は、自発的に人的被害の有無を優先に会員の安否確認を行いました。

その結果、残念ながら京都府の家族会員夫妻が被災し逝去されました。また、広島県の隊員家族 1 名が今もなお行方不明です。他の県での人的被害の報告はありませんでした。物的被害では、土石流等で家屋の全壊、半壊、床上浸水等の被害に遭われた会員の報告を受けていますが、未だ全容は把握できていません。

(2) 災害派遣中の部隊への慰問・激励の実施

ア 特に甚大な被害を被った岡山、広島、愛媛の 3 県に災害派遣中の自衛隊に対し、家族会として、「国際平和協力活動等支援金管理運営規則」の非常大災害の規定により慰問・激励することとし、総額 100 万円相当の慰問・激励品を 3 県の家族会長から 7 月 24 日以降順次災害派遣部隊に贈呈していただきました。



慰問・激励品を呉総監へ贈呈する福谷広島県会長

激励品目録	
一、栄養ドリンク	一式
一、栄養補助食品	一式

公益社団法人 自衛隊家族会
 会長 伊藤 康成

① 東北地区 北関東地区
 ② 第13師団 第13師団司令部地区

慰問・激励品の目録



慰問・激励品を空自宇和島災害派遣隊長へ贈呈する井伊愛媛県事務局長



慰問・激励品を第3師団長へ贈呈する中村岡山県会長

イ 高知県家族会は、7月19日（木）原会長以下3名が高知駐屯地を訪問し、災害派遣中の第50普連（高知）や北部方面隊からの派遣部隊を慰問・激励しました。

ウ その他の県家族会も、災害派遣部隊への慰問・激励を実施したとの報告を受けています。慰問・激励品が、猛暑の中で活動する隊員への一服の清涼剤となれば幸甚です。

(3) 特別警報発表時における家族会会員の安否確認等実行措置について

今後も、数十年に一度の大雨（土砂災害、浸水災害）、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮、震度6弱以上の地震、3メートルを超える津波、居住地域で避難準備・避難が必要な噴火については特別警報が発表されることが予想されます。今般の災害の教訓から「特別警報発表時における家族会会員の安否確認等実行措置について」（家族会事30号、H30.7.24）を発簡し、各県家族会会長には会員の安否確認等の自発的な実行をお願いしました。しかし、特別警報の定義に一部不備がありましたので、朱字で修正箇所を記載した「特別警報発表時における家族会会員の安否確認等実行措置について」（家族会事31号、H30.7.30）を改めて発簡させていただきました。

(4) 家族会本部

ア 中央研修会

次の要領で実施しますので予定しておいてください。

- ・日時・場所：平成30年11月20日（火）1300～1900 グランドヒル市ヶ谷
- ・参加者：各県事務局長等
- ・実施要領：テーマ1 活動の手引きの普及（県家族会の業務要領・根拠等の周知）
 テーマ2 活性化施策の検討（県家族会の発表方式による意見交換）
 テーマ3 家族支援協力の実効性確保の方策

イ 総合募集情報誌（DW19）の作成

2019年版総合募集情報誌（DW19）の作成を次のとおり開始しました。
 DW19の購読及び普及・広報にご協力をお願いします。

（ア）更新内容

- * 陸海空部隊の取材による隊員の声、再就職した自衛隊OBの声、自衛隊員家族の声
- * 取材先：陸自 朝霞駐屯地（陸上総隊司令部、東方通信群、体育学校）
 海自 館山基地（21航空群）
 空自 府中基地（支援集団司令部等）
- * 2018年（平成30年）版防衛白書（次期防衛計画大綱、中期防等）
- * 教育制度、部隊編成・配置等変更事項

（イ）完成時期：平成31年2月

（5）県家族会

ア 九州・沖縄地域協議会及び募集連絡会議の実施

7月18日～19日の間、平成30年度九州・沖縄地域協議会総会及び自衛隊との連絡会議が行われ、本部から伊藤会長及び宮下理事が出席しました。地域協議会総会では、「募集協力に関する地本支援の在り方」と「各県における家族会活性化の現状と今後の施策」等について活発に意見交換を実施しました。

引き続き西部方面総監部人事部長の主催で開催された連絡会議では、当初陸海空自衛隊の状況について具体的な説明が行われ、引き続き「募集目標を達成（特に自衛官候補生）するための具体的協力内容」について意見交換し、家族会への協力依頼内容を明確にしました。また家族支援について「家族会による支援要望の割当に関する促進施策」について意見交換するとともに、熊本県事務局長及び沖縄県会長が各県の家族支援協力の現状と課題等を発表しました。

19日は、今年3月末に新編された陸自の水陸機動団（相浦駐屯地）と海自佐世保教育隊（崎辺地区）を研修し、南西諸島防衛態勢強化の一旦を垣間見るとともに、海自新隊員が猛暑の中で訓練に取り組む真摯な姿を見学した後、昼食会において各県出身隊員を激励しました。



水陸両用車（AAV-7）前にて



佐世保教育隊の新隊員を激励する県会長

イ 第10次派遣海賊対処行動支援隊への激励

小泉栃木県家族会会長は、7月21（土）第10次派遣海賊対処行動支援隊（中央即応連隊 中山派遣中隊長）に対する家族会からの激励を担当するとともに、会員とともに無事の帰国を願い見送りを実施しました。



中山支援隊長を激励する小泉栃木県会長

ウ 第32次派遣海賊対処行動航空隊への激励

古門沖縄県家族会会長は、7月27（金）第32次派遣海賊対処行動航空隊（隊長 長谷川2等海佐）に対する家族会からの激励を担当するとともに、会員とともに無事の帰国を願い見送りを実施しました。



長谷川航空隊長を激励する古門沖縄県会長